

# 追悼の辞

## 親友・田中康さんの死を悼む

理事 高島 治

田中康さんは令和元年七月二十一日に急性心不全により逝去されました。享年八十四歳でした。

私と田中さんとの出会いは同じマンションに居住し、マンション

内のサークルに「歩こう会」「園芸の会」があり、共に活動して

ました。私が横歴への入会を勧め

平成二十五年に入会されました。横歴の月例会にはほぼ出席され

やや難聴のため前列に座り懸命に聴取されていました。年間皆勤賞

を何度か受賞された。例会後の飲み会や歴史散歩、一泊バス旅行に

も参加されました。横歴で田中さんのエピソードとして靴履き違い

事件があります。春の歴史散歩「谷中界限に幕末・明治を偲ぶ」の打

ち上げて鶯谷の居酒屋での事、帰りに履いてきたシューズの感触が

(79)

申し出が有り相手方からも同様の申し出があり無事に元に戻ったという事件、どちらが先に履き違えたかは判明しませんが二度発生しました可笑しい事件でしたね。田中さんは亡くなられた前日には、スポーツクラブのランニングマシンで体力を鍛えておられた。ゴルフが大好きで月三回ほどプレイされていたようです。横歴会員の鎌倉CCメンバーの、亡き石関さん、三芳さん、古谷さんとは一緒にプレイされていました。同行プレイヤーの言によると年の割にはびっくりするほどボールが飛び、ステディなゴルフとの事です。ご遺族の方が鎌倉CCに電話をされたら田中さんから三件のプレイ予約が入っていたとの事です。本当にゴルフが好きだったんですね。飲んだ時にゴルフの話が出たと

き、私はこの暑い時期にゴルフは駄目ですよとよく進言しました。

そんな貴方は、終末の話題で「ピンコロ」で逝きたいと言っていましたね。

本当にそんな幕引きとなつて終わりましたね。しかしこの結末はきつと残念ですよ、もう五、六年は元気でゴルフをやりたいかったですよね。

亡くなられた七月二十一日は「園芸の会」の作業日でした。田中さん今日は遅いねと皆で言いながら作業をしている時、田中さんが倒れ救急車で市大病院に運ばれたとの連絡がありました。吃驚仰天し作業を早めに切り上げていたところに亡くなられたとの連絡を受けました。

マンション内の「ゴルフ会」「園芸の会」ほか居住の皆様も本当に残念がっていました。

康さん・・・天国では先に逝かれたご親族やご友人の方々とお会いになり、話の花を咲かせておられることでしょう・・・ご冥福をお祈り申し上げます

天国の康さんに献句をさせてい

た。たきます。

梅雨上がる川の向こうの  
楽しけれ

合掌



田中さん近影



「園芸の会」の仲間  
前列左が田中さん、後列右が筆者